

教育長表敬訪問について

宮城県気仙沼向洋高等学校の生徒が下記の内容で受賞したことにより、教育長を表敬訪問することになりました。報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

記

1 訪問日 令和6年1月10日（水） 午後2時30分から午後3時まで

2 場 所 宮城県行政庁舎16階 教育委員会会議室

3 受賞内容等

第32回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会 最優秀賞、文部科学大臣賞、水産庁長官賞

研究題：水産廃棄物「ホヤ殻」の魚類餌料への転用 第3報

ホヤ殻の橙色は観賞魚の色揚げに関わる色素「ゼアキサンチン」か？

宮城県気仙沼向洋高等学校 産業経済科

3年：阿部 蓮 3年：菊田 嗣実 3年：中澤 謙人

4 全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会について

全国の水産高校等で学ぶ生徒が主体性、創造性、問題解決能力を向上させるとともに、水産分野の振興に寄与することを目的に、全国水産高等学校長協会が主催している大会です。

今年度は、令和5年12月15日に富山県氷見市で開催され、東北地区代表として出場した3年生3名の研究が最高賞である最優秀賞及び文部科学大臣賞、水産庁長官賞を受賞しました。本大会で宮城県勢が最優秀賞を受賞するのは初のことです。

5 研究概要

ホヤ殻はセルロースやタンパク質を含むが、現在そのほとんどが廃棄処分されている「未利用資源」であり、その利用について研究を行ってきました。

今年度はホヤ殻の橙色に着目し、これが観賞魚の色揚げに関わる色素「ゼアキサンチン」であれば金魚は赤くなるという仮説を立て研究を進めました。調整したホヤ殻配合餌を金魚に給餌したところ赤色化を確認したと併せて、抽出したホヤ殻色素の化学分析から色素同定に挑み、ゼアキサンチンに似た特徴を示す色素であることを認めました。

また、発表ではゼアキサンチンなどキサントフィル類は抗酸化活性があるため、本色素がその他の産業においても利用が期待でき、地域水産業の発展に貢献できるということを紹介しました。

